

IELTS 団体受験の案内

大学が受験料*の一部
(15,380円)を補助します。
(*受験料1回 25,380円. 個人負担 10,000円)



海外留学や海外インターンシップに応募しようと思いついて、IELTS や TOEFL を受験しようと思っても、毎回2万円以上する受験料は、悩みの種。

外部試験で現在の英語力を測ってみたいくても、受験料が高すぎて気軽には受けられない。

そういう人たちに朗報！

団体受験の方法を大幅に変更します！

①教養学部生全員、総合文化研究科の院生も広く対象に！（3-4年生、PEAK生、大学院生に朗報！）

②学生は1万円の個人負担。

③年間4回の試験日ごとに

IELTS って何？

IELTS (アイエルツ) は、TOEFL と並んで、全世界で認められており、英語力測定の国際基準として扱われている試験です。イギリス、オーストラリア、欧州、北米の大学で広く利用されています。

IELTS 団体受験の5つのメリット

- ① IELTS 受験料が60%オフ！
- ②東京大学特別会場で一日で受験完了！（通常2日間）
- ③留学するときに英語力の証明書として使えます。（有効期限は2年）



④IELTS スコアが国家公務員試験の加点要件に！（通常有効期限2年のところ、本用途については有効期限5年）

⑤団体受験者専用の IELTS 対策ワークショップ(10月29日)に無料で参加できます。



団体受験募集要項

応募資格：東大教養学部1～4年生（含むPEAK生）および総合文化研究科在籍者

募集期間：各試験日ごとに募集期間を設ける

募集人数：500名（本年度の合計。各回の割当は下記参照）

団体受験申込方法：説明会で発表。

応募条件：以下の条件すべてに同意すること。

- (1) IELTS 団体受験に応募した受験日に専用会場で受験。
- (2) IELTS 受験料（25,380円）のうち10,000円を学生が自己負担、残金の15,380円を大学が負担する。
- (3) 受験には、身分証明書としてパスポートが必須である。パスポートは申し込みの際に使用し、試験日当日に有効なものであること。パスポート未保持の者は自費で申請すること。
- (4) 「アカデミック」モジュールを選択すること。
- (5) 試験日決定後、2回以上受験日を変更する場合の変更手数料（6,300円）は学生が負担する。ただし、試験日5週間前の金曜午後5時以降の変更は不可。
- (6) 受験会場への交通費は学生が負担する。
- (7) 追加成績証明書が必要な場合は、それにかかる手数料（一通1,100円）は学生が負担する。
- (8) 受験結果がグローバルコミュニケーション研究センターに通知されることに同意し、また同センターでの教育開発、語学習熟に関する分析や研究に使用される可能性があることにも同意する。
- (9) 受験申込したにも関わらず、未受験だった者については、受験料補助分の返金を求める。

各回の受験枠の割当

	1年生	2年生	3年生	4年生	PEAK	院生
第1回試験日 (9月10日)	受付終了					
第2回試験日 (10月22日)	61	20	3	2	4	8
第3回試験日 (11月5日)	38	36	5	6	0	5
第4回試験日 (12月10日)	80	40	28	28	12	12

試験日程

今年度は試験日ごとに受験者の募集をしています。

第2回 10月22日(土)

申込締切：9月16日

(金)17時(クレジットカード決済の場合)

第3回 11月5日(土)

申込締切：9月30日

(金)17時(クレジットカード決済の場合)

第4回 12月10日(土)

詳細は

「**団体受験説明会**」で

10月4日(火)

10月5日(水)

12:20-12:50 @525

(事前参加申込不要)

第1回は申込受付終了



チラシはこのQRコードからもダウンロードできます！

問い合わせ / 申し込み先：教養学部附属グローバル・コミュニケーション研究センター

メールアドレス ielts@cgcs.c.u-tokyo.ac.jp